

第30回日本体力医学会東北地方会のご案内

1. 期 日：
 - 令和4年6月3日(金)／幹事会
 - 6月4日(土)／大会（一般演題, シンポジウム, 特別講演）
2. 主会場：弘前大学医学部コミュニケーションセンター
〒036-8203 青森県弘前市本町40-1
TEL：0172-33-5111
3. オンラインライブ配信：
 - ZoomによるWeb会議システムを用いて実施（URL等は改めてご連絡いたします。）
4. 日 程：
 - 6月3日(金)：幹事会 17：00～18：15
(受付開始 16：30)
 - 6月4日(土)：学会大会 9：15～15：00
(受付開始 8：45)
 - 開会挨拶 9：15～9：25
 - 一般演題 9：30～11：00
 - 総会 11：00～11：30
 - 昼休み 11：30～12：30
 - シンポジウム 12：30～13：40
 - 特別講演 13：40～14：40
 - 閉会挨拶 14：50～15：00
 - ・Zoom接続については、弘前大学医学部（ホスト）により、幹事会、学会大会共にそれぞれの開始時刻の30分前(上記受付開始時刻)から可能とする予定です。
 - ・大会開催日前の2週間以内に発熱、咳、体調不良等の症状があった方は会場参加をご遠慮下さい。
 - ・会場参加の際には、マスクを着用のうえ、会場受付での検温、手指消毒にご協力下さい。
 - ・新型コロナウイルス感染症の蔓延状況により開催方法に変更が生じる場合があります。
5. 参加費
 - ①日本体力医学会会員：無 料
 - ②一般演題, シンポジウム, 特別講演の発表者および共同演者：無 料
 - ③青森県医師会会員：無 料
 - ④非会員：1000円（参加登録後にお支払い方法をメールにて連絡いたします。）
6. 一般演題発表 9：30～11：00
 - 非会員の場合は、「体力科学」への掲載料として1頁当たり3,000円を著者が負担することとなっております。
7. シンポジウム 12：30～13：40（演者指定）
 - テーマ「新型コロナウイルス感染症蔓延下におけるスポーツ傷害予防」
 - ・コロナ禍における青少年アスリートの体力：市田 慧治 先生（青森県スポーツ科学センター）
 - ・外来診療からみたスポーツ傷害予防：木村 由佳 先生（弘前大学大学院医学研究科）
 - ・成長期年代における野球肘予防への取り組み：前田 周吾 先生（青森労災病院）
 - ・陸上競技におけるスポーツ傷害予防への取り組み：藤田 有紀 先生（弘前大学大学院医学研究科）
8. 特別講演 13：40～14：40
 - 「名城大学におけるメディカルサポートの実際とその成果について－女子駅伝部を中心として－」
 - 講師：梅田 孝 先生（名城大学薬学部教授）
9. 各種資格の単位認定について（申請料無料）
 - (1) 日本医師会認定健康スポーツ医制度健康スポーツ医再研修
特別講演を受講することにより、1単位が認定されます。
 - (2) 健康運動指導士・健康運動実践指導者（健康・体力づくり事業財団）
学会大会に参加することにより、講義3.0単位が認定されます。
10. 昼食について
 - 恐縮ではございますが、大会当日の昼食につきましては各自でご用意頂きますようお願い申し上げます。
11. 大会事務局
 - 〒036-8562 弘前市在府町5
 - 弘前大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座
 - 日本体力医学会東北地方会第30回大会事務局
 - 事務局長 松田尚也
 - TEL：0172-39-5473（講座受付）
 - E-mail：matsudan@hirosaki-u.ac.jp

第34回日本体力医学会北陸地方会のご案内

日時 令和4(2022)年6月5日(日) 10:00~16:20
 会場 富山地铁ホテル (11階) 多目的ホール
 「アルシェフ」
 〒930-0003 富山市桜町1-1-1
 JR富山駅南口の東隣
 主催 一般社団法人日本体力医学会北陸地方会
 第34回大会事務局 岡本 啓
 〒939-0398 富山県立大学 教養教育センター
 後援 公益財団法人富山市体育協会
 日本健康運動指導士会富山県支部

長崎 成良 (黒部市民病院臨床スポーツ医学センター)

報告3: 週1回の店舗利用で高い運動効果を!
 宮下 雅登 (株式会社サンプランチ運動施設リライト)

報告4: COVID-19下における中学校体育及び部活動の実施状況
 佐伯 あずさ (富山市立岩瀬中学校)

15:15~16:15 一般演題

座長: 辻本 典央 (福井工業大学)

演題1:

COVID-19下における大学教養体育の実施状況

岡本 啓¹, 上村一貴^{1,2}, 渡邊敦也¹

¹富山県立大学教養教育センター, ²大阪公立大学

演題2:

石川県のジュニアアスリートの見る力を知る

木下直樹, 吉田 純, 平下政美, 勝木保夫

公益財団法人北陸体力科学研究所

演題3:

骨格筋ミトコンドリアへのミオグロビン輸送に対する

TOM複合体 受容体サブユニットの関与

小間陸嗣¹, 芝口 翼², 野中雄大², 増田和実^{1,3}

¹金沢大学大学院自然科学研究科, ²金沢大学国際基幹教育院, ³金沢大学人間科学系

演題4:

運動後のホルモンと自律神経に関する研究

谷田 守, 木元雄一朗

金沢医科大学医学部生理学Ⅱ講座

16:15~16:20 閉会挨拶

大会日程

9:30~ 受付開始

10:00~10:10 開会挨拶

10:10~11:30 特別講演

座長: 岡本 啓 (富山県立大学)

演題: 健康増進のための運動と栄養の役割

—細胞からヒトまでを対象とした研究展開と今後の展望—

講師: 橋本 健志 (立命館大学スポーツ健康科学部)

11:30~12:30 昼食休憩・懇談

12:30~13:20 北陸地方会 社員総会

13:30~15:00 シンポジウム

座長: 齊藤 陽子 (富山県立大学)

テーマ: COVID-19流行下における健康・体力づくり

報告1: 健康増進施設における取組み

川向 哲弥 (公益財団法人北陸体力科学研究所)

報告2: 感染症指定医療機関における運動指導

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団「第34回助成研究発表会」および「ソルト・サイエンス・シンポジウム2022」の開催について

○第34回助成研究発表会

- ・開催期日 2022年7月26日(火) 9:30~17:00
- ・開催場所 都市センターホテル
(東京都千代田区平河町)
- ・参加料は無料。参加希望者は財団にFAX・E-mail等で事前に申込。

- *新型コロナウイルス感染症の状況によってはオンラインでの開催となる場合があります。
- ・詳細については、財団のウェブサイトをご覧ください(開催1ヶ月前に掲載)。

○ソルト・サイエンス・シンポジウム2022

1. 開催概要
 - 1) 開催趣旨
塩に関する学術, その他の情報普及と啓発
 - 2) 開催日時
2022年10月21日(金) 13:00~17:00
 - 3) 開催場所
スクエア荏原・ひらつかホール
(東京都品川区荏原4-5-28)
 - 4) 参加料 無 料
参加の申込みはFAX・E-mail等で事前に申込
Fax: 03-3497-5712 Tel: 03-3497-5711
E-mail: saltscience@saltscience.or.jp

- *新型コロナウイルス感染症の状況によってはオンラインでの開催となる場合があります。
- ・詳細については、財団のウェブサイトをご覧ください(開催1ヶ月前に掲載)。

2. テーマと講演内容

- 1) シンポジウムテーマと講演内容
 - (1) シンポジウムテーマ:
「宇宙時代のソルトサイエンス」
 - (2) 講演内容(講演順)
 - ①「高圧実験から見た地球・惑星内部の塩と氷」
講演者: 鍵 裕之 東京大学大学院教授
座 長: 斎藤恭一 千葉大学名誉教授
 - ②「宇宙における味覚-宇宙食と塩味-」
講演者: 朝倉富子 東京大学大学院特任教授
座 長: 松本美鈴 元大妻女子大学大学院教授
 - ③「宇宙で、そして地球で健康に生きるために」
講演者: 森田啓之 東海学院大学教授
座 長: 菱田 明 浜松医科大学名誉教授

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団
(<https://www.saltscience.or.jp>)
Fax: 03-3497-5712 Tel: 03-3497-5711
E-mail: saltscience@saltscience.or.jp

編 集 後 記

2021年夏には東京オリンピック・パラリンピック、2022年冬には中国の北京で行われた冬季オリンピック・パラリンピックと、この1年間、スポーツのビッグイベントが行われ、選手の素晴らしいパフォーマンスに歓喜したのではないのでしょうか。ところで、オリンピックの5つの輪の意味をご存じでしょうか？オリンピックの5つの輪は、世界5大陸（アジア、ヨーロッパ、アフリカ、南北アメリカ、オセアニア）を表し、全世界の人たちが平和の精神のもと、スポーツで手をつなぎあおうという意味が込められています。オリンピック・パラリンピックはスポーツの祭典と言われていますが、教育、倫理、人権、平和などといった様々な観点からの役割も担っています。また最近では、スポーツ庁が2022年4月からスポーツ基本計画（第3期）を策定し、スタートさせました。すべての人々が、スポーツを「する」「みる」「ささえる」というさまざまな立場でスポーツに関わる社会の実現を目指し、スポーツを「つくる／はぐくむ」、スポーツで「あつまり、ともに、つながる」、スポーツに「誰もがアクセスできる」といった新たな視点から取り組むことが決まりました。さらに、2025年には日本万国博覧会が大阪で開催される予定です。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」であり、基本構想の議論の中には、健康を意識した内容が盛り込まれております。今後、プログラム内容の中で、運動や栄養といった企画が展開されること

を期待されています。

このように、スポーツが担う役割は非常に大きく、スポーツの価値は今後も新たな広がり期待されています。その期待に応えていくためには、本学会から発信されるスポーツ科学、体力科学、健康科学、臨床スポーツ科学などの基礎から応用研究、実践研究までの多岐にわたる科学的エビデンスの構築が必須です。引き続き、学会会員全員で、より高いレベルの研究成果を発信していくためにも、本誌「体力科学」への積極的な投稿をお願い申し上げます。また、本学会では、国際的な発信も力を入れております。本誌に加えて、本学会英文誌「JPFISM」への投稿も併せてお願い申し上げます。

さて、第71巻3号は、第5回特集「骨盤底筋エクササイズを考える」と題して、5編の総説を掲載いたしました。骨盤底筋エクササイズの基礎から日常生活・臨床現場における効果など興味深い内容が掲載されています。その他、英文誌「JPFISM」との連携のためにJPFISM (Vol. 11, No.3, 2022) でSpecial Issue/Review Article : 3編, Short Review Article : 4編, Regular Article : 2編, 計9編の抄録も掲載しております。ご一読して頂ければ幸いです。

家光素行

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.71, No.3

体 力 科 学 第71巻第3号

令和4年5月25日 印刷
令和4年6月1日 発行

編集兼発行者
発行所

編集事務局

印刷所

後藤勝正
一般社団法人日本体力医学会
〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内
TEL : 03-5981-6015 FAX : 03-5981-6012
E-mail : jspfsm@asas-mail.jp
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社内
TEL : 0235-22-3120 FAX : 0235-22-3120
E-mail : hj-tairyoku@turuin.co.jp
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社